



倉二だより

学校だより

9月号

令和4年8月30日

舞鶴市立倉梯第二小学校

2学期のスタート！



まだまだ蒸し暑い日が続いていますが、それでも朝・夕は涼しい風を感じるようになりました。

校長室に置いていた鈴虫は、夏休みに入ってしばらくすると鈴をならしたようなきれいな声で鳴き始めました。猛暑が続いていた8月でしたが、虫の音を聞くと秋を感じます。1学期はまだ小さかった鈴虫の様子を見に校長室にやってきていた子どもたちも、喜んでくれると思います。

本日より2学期がスタートし、夏休みの間静まりかえっていた学校に活気もどってきました。新型コロナウイルスが猛威をふるい、思うように行動することができなかつたかもしれませんが、長い休みを活かし、継続して何かに取り組んだり、家族の一員としての役割を果たしたり、家族でゆっくり過ごしたりと、きっとそれぞれに有意義な時間を過ごしたことでと思います。その間、子どもたちが大きな怪我もなく安全に過ごすことができましたのは、地域の皆様、保護者の皆様の温かい見守りのおかげです。心より感謝申し上げます。



2学期は一年で一番長く、運動会など、全校で取り組む行事があります。行事に向けて考えたり話し合ったり、めあてを持って準備や練習をしたりする中で子どもたちは力をつけ、学級としてもさらにまとまっていきます。新型コロナの終息の見通しはまだ持てませんが、感染対策を徹底しながらそれぞれの行事が子どもたちの成長の節目になるよう取り組んでいきたいと思ひます。

1学期最後の日、校門の近くで子どもたちを見送っていると、2人の子が、「1学期間ありがとうございました。」「2学期もよろしくお祈ひします。」と、声をかけてくれました。また、こちらが後ろを向いても「おはようございます。」と挨拶をしてくれる子もいます。ちゃんと目を合わせて挨拶をする子も増えました。通知表にはこれらのことは数字や印で表すことはできませんが、子どもたちの成長や気持ち、些細な言動は数字で表せるものばかりではありません。でもその中にこそ、大切なものがあるような気がします。

別紙「いじめアンケートの結果より」にもありますように、日々いろいろなことがあり、その中には人権にかかわることいじめにかかわることもあります。トラブルが起こることもあります。いじめに該当するかしらないかの判別ではなく、相手の気持ちを考えた言動であったかどうか、どうすればよかったのか、丁寧に指導をしてきたいと思ひます。よいところ、すてきなところがたくさんある倉二の子どもたちには、さらに、創造力を働かせ、「もし自分だったら・・・」と相手の気持ちを考えられる力を付けていってほしいと思ひます。引き続き、地域、保護者の皆様のご支援・ご協力を、どうぞよろしくお祈ひいたします。

校長 野田 千鶴 教職員一同